

令和7年度 横浜市疾病の重症化予防事業 薬剤師向け研修会 報告書

令和8年2月12日
作成者：事務局 笹木

【研修会開催概要】

日 時：令和8年1月29日（木） 19：30～21：15

開催方法：ZOOMによるWEB研修会（即時配信）

対象者：横浜市内で従事する薬剤師

参加者：94名

【研修会の目的】

横浜市では、多職種が連携して継続的な糖尿病療養支援体制を提供することを目指している。本研修会では、市内の薬剤師が糖尿病に関する実践的な知識・技術を学び、多職種連携の中で「わたしの糖尿病連絡ノート」を効果的に活用することで、病院・地域で円滑に糖尿病患者支援を行うことを目的とする。

【研修会内容】

講演1. 「『糖尿病』変わること 変わらないこと」

講師：新吉田医院 院長 東 浩介 先生

＜主な内容＞

1. 「わたしの糖尿病連絡ノート」の概要と多職種間での連携方法
2. 糖尿病の歴史・病態、治療の変遷
3. 医師による薬剤選択の考え方
4. 年代・体格・生活背景に応じた糖尿病に対する捉え方



講師：東 浩介先生

講演2. 「療養支援を支える病院看護師の役割」

講師：独立行政法人 労働者健康安全機構 横浜労災病院

糖尿病看護特定認定看護師 野地 俊成 先生

＜主な内容＞

1. 「わたしの糖尿病連絡ノート」導入の経緯
2. 導入後の課題
3. 「わたしの糖尿病連絡ノート」を活用した事例の紹介
4. 薬剤師へのお願い



講師：野地 俊成 先生

講演3. 「訪問看護ステーションにおける『わたしの糖尿病連絡ノート』を使用した多職種連携とその課題」

講師：ウェルケア訪問看護ステーション 上原 美夏 先生

＜主な内容＞

1. 「わたしの糖尿病連絡ノート」の概要
2. 訪問看護の現場における活用事例
3. 「わたしの糖尿病連絡ノート」を利用して良かった点
4. 薬剤師との連携について



講師：上原 美夏 先生

講演4. 「薬剤師による糖尿病患者へのアプローチの実際

～港北区発の『わたしの糖尿病連絡ノート』をいかに活用するか？～

講師：日吉堂薬局 代表 相沢 淳 先生

＜主な内容＞

1. 「糖尿病重症化予防委員会」結成と「わたしの糖尿病連絡ノート」作成について
2. 「わたしの糖尿病連絡ノート」の活用事例
3. 「わたしの糖尿病連絡ノート」に関する現状の課題、解決策および今後の取り組み



講師：相沢 淳 先生

ディスカッション「『わたしの糖尿病連絡ノート』の活用・記載方法を通じた
医療従事者の取り組み」

パネリスト：東 浩介 先生、野地 俊成 先生、上原 美夏 先生、相沢 淳 先生

進行役：一般社団法人 横浜市薬剤師会 常務理事 高木 健司

＜主な内容＞

1. 上原先生の講演3事例に対する意見（東先生より）
2. シックデイへの関わり方（東先生より）
3. 「わたしの糖尿病連絡ノート」の導入・対象者について（相沢先生より）
4. 医療・介護職の連携について（野地先生、上原先生より）
5. 各講師から薬剤師に期待すること



ディスカッション時の様子

～参加者の様子・感想～

多職種それぞれの立場からの講演や具体的な事例紹介を通じて、「わたしの糖尿病連絡ノート」の有用性や、薬剤師が果たすべき役割について理解が深まったとの声が多く寄せられた。特に、実際の現場での活用事例や多職種からの率直な意見は、今後の業務に活かしたいという前向きな感想につながり、地域における糖尿病療養支援のさらなる充実に寄与する研修会となった。

また、今回は講師間でのディスカッションの時間を設けたことで、薬局薬剤師への期待も示された。受講者アンケートからも、今後の連携や対応方法を考えるうえで非常に有意義であるとの感想がみられた。

今後の研修会においても、多職種による意見交換を積極的に行うことで、地域における糖尿病療養支援の質の向上につながることが期待される。